

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU-R部会
地上業務委員会(第2回) 議事概要(案)

1 開催日時

平成20年6月11日(水)15:00~17:15

2 場所

総務省1階第1会議室

3 出席者(敬称略、順不同)

[構成員]

高畑 文雄(主査)、小川 博世、阪田 史朗、佐藤 孝平、清水 一巳、徳広 清志、中村 勝英、丹羽一夫、橋本 明、古山 賢二、松永 彰、室田 和昭、山崎 保昭、弓削 哲也

[関係者]

島貫 義太郎(岩渕委員代理)、仲間 正勝(加藤委員代理)、井上和彦(齊藤委員代理)、田中 祥次(正源委員代理)、鈴木 幸詞(新城委員代理)、古谷 正博(鈴鹿委員代理)、松山 茂(宮内委員代理)、

(説明者)

石川 禎典、小松 裕

[事務局]

森移動通信企画官、住吉係長、成澤官(以上、移動通信課)
広瀬係長、若松官(以上、衛星移動通信課)

4 配付資料

資料地2-1 地上業務委員会(第1回)議事概要(案)

資料地2-2 ITU-R SG5関連会合報告書

資料地2-3 ITU-R SG5 WP5D第2回会合への日本寄与文書(案)

資料地2-4 ITU-R SG5 WP5D第2回会合への対処方針(案)

資料地2-5 ITU-R SG5関連文書の承認等の可否(案)

参考資料1 ITU-R JTG5-6第1回会合報告(概要版)

参考資料2 地上業務委員会IMT WG第2回会合の審議報告

参考資料3 ITU-R SG5 WP5D第2回会合の開催案内(5/LCCE/4)

参考資料4 ITU-R SG5関連回章文書(CAR/252、CAR/253、5/LCCE/5)

参考資料5 ITU-R SG5 WP5D第2回会合の日本代表団一覧

参考資料6 地上業務委員会構成員名簿(平成20年6月現在)

5 議事概要

(1) 地上業務委員会(第1回)議事概要について

【資料地2-1】

地上業務委員会(第1回)議事概要(案)について、特段の意見なく承認された。

(2) ITU-R SG5関連会合の報告について

【資料2-2、参考資料1】

事務局より、平成20年1月から2月にかけて開催されたWP5D第1回会合、WP5A第1回会合、WP5C第1回会合、WP5B第1回会合及びSG5第1回会合の報告があった。また、橋本構成員より、JTG5-6第1回会合の報告があった。

(3) ITU-R SG5 WP5D第2回会合への対処について

(3)-1 日本寄与文書(案)について

【資料2-3】

事務局より、ITU-R SG5 WP5D第2回会合への9件の日本寄与文書(案)について、IMTワーキンググループで審議・承認されたものである旨説明が行われた後、各寄与文書案について審議が行われた。

【資料2-3-1、資料2-3-2】

石川氏より、IMT-Advancedの無線インタフェースの技術的要求条件に関する寄与文書案について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

(質疑応答)

橋本構成員：日本寄与文書案(J-1)の位置付けは、日本として今回のWP5D会合でIMT-Advancedの技術的要求条件の合意を目指すとの趣旨か。

佐藤構成員：然り。本寄与文書案では、技術的要求条件についての考え方を提案するもの。

本寄与文書については、共同提案相手の韓国、中国の国内審議は実施されていないが、各国の関係者からは概ね了解が得られている。

橋本構成員：寄与文書案に技術的要求条件の最終化を目指す旨明記してはどうか。

佐藤構成員：明記しようとしたが、各国との調整がつかなかったため、現状の記載にとどまっている。

【資料2-3-3、資料2-3-9】

石川氏から、IMT-Advancedの無線インタフェースの評価方法や評価基準に関する寄与文書案について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

(質疑応答)

高畑主査 : 日本寄与文書案(J-9)は、日本が中心になって作成したのか。

佐藤構成員 : 第8章の構成については、中国及び韓国との間で合意が取れており、中国から共同提案の希望の要望があったもの。

橋本構成員 : 本寄与文書案(J-9)は、文書の構成のみの提案か。

佐藤構成員 : 中国、韓国との合意箇所については、構成だけでなく、内容の文章についても共同提案を意図している。

高畑主査 : 今回は、寄与文書要旨のみが審議資料となっているが、本寄与文書要旨の趣旨の範囲内での条件付承認とし、寄与文書本文の判断は、事務局に委任する。

【資料2-3-4、資料2-3-5】

小松氏より、IMT-Advancedの無線インタフェースの評価に用いるチャンネルモデルに関する寄与文書案について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

(質疑応答)

高畑主査 : 日本寄与文書案(J-4)及び(J-5)の内容は重複しないか。日本単独提案の(J-5)を提出する旨をフィンランドは把握しているか。

小松氏 : 重複はない。調整の結果、両国が合意できない箇所を、単独で提案しているため、フィンランドは、日本単独提案について把握している。

高畑主査 : 今後のフィンランドとの調整次第で、変更の可能性はあるか。

小松氏 : エディトリアルな修正はあり得るため、寄与文書要旨の範囲内での修正の可能性も含めて承認いただきたい。

【資料2-3-6、資料2-3-7、資料2-3-8】

石川氏より、IMT-Advancedの無線インタフェースの提案募集のためのサーキュラーレターに関する寄与文書案について説明が行われ、特段の質疑なく承認された。

(3)-2 ITU-R SG5 WP5D第2回会合への対処方針(案)について

【資料2-4】

事務局より、ITU-R SG5 WP5D第2回会合への対処方針(案)について説明があり、特段の質疑なく承認された。

(4)ITU-R SG5関連文書の承認等について

【資料2-5、参考資料4】

事務局より、ITU-R SG5関連文書の承認等の可否(案)について説明があり、特段の質疑なく承認された。

(5)その他

事務局から参考資料について説明があった。

また、外国寄与文書の対処については対処方針のとおり対処し、特に審議が必要と思われるものについては、主査とも相談の上、地上業務委員会でもメールで審議をお願いする旨事務局から説明が行われた。

以上